

第56回 たこあげ大会開催

1月15日に、13地区が、くじら運動公園、大神公園、拝島自然公園、つつじが丘小学校及び瑞雲中学校の校庭4箇所、新春たこあげ大会を開催しました。

たこ作り

たこあげ大会に向けて、各小中学校地区委員会の主催で「たこ作り教室」が、昨年12月3日の中神小学校地区から始まり、1月14日までの1ヶ月以上にわたって、各地区で開かれました。



地区委員の方が先生です

たこ展示

手作りのたこの中から各地区委員会で選ばれた約200点が、今年度は前半（中神、光華、成隣、拝一小地区委員会）が、12月26日～1月11日に、後半（東、共



たこの展示後半



たこの展示前半

たこあげ大会

たこあげ大会当日の早朝は、寒く霜柱も立っていました。開会式が始まるころには徐々に地面も乾き始め、風もほどよく吹き、暖かく、たこあげには最高のコンディションでした。参加者も1942人と多くの人でにぎわいました。そんな中、自分たちで作った力作のたこを手にした子どもたちは元氣よく走って、たこあげを楽しんでいました。青空に浮かぶたこは、とてもきれいで、生き生きと見えました。各地区で工夫を凝らした温かな飲み物なども好評でした。



たこの表彰（中部地区）



たこあげの様子（北部地区）

今年は11月19日（日）開催予定。

青少年フェスティバル実行委員を募集

青少年フェスティバルは、青少年が主役となり、企画・運営する祭典です。青少年フェスティバル実行委員は、高校生から24歳までの青少年が中心となり、フェスティバルの企画・運営をするメンバーです。中学生も当日のボランティアとして大歓迎です！

参加希望の方は、5月末までに昭島市役所青少年係までご連絡ください。

「青少年フェスティバル年間スケジュール」

4月・5月

最初は実行委員で顔合わせ。その年の委員長や副委員長、みんなが楽しく企画を進めるためのテーマを決めます。

6月・10月

本部、大ホール、小ホール、展示、空いろの5つの中から好きな企画を選んで企画を立てていきます。

◆本部企画 全体のまとめ役です。

◆大ホール企画 KOTORIホール（市民会館）でのダンスや吹奏楽の発表など大きな舞台を使う企画の運営をします。

◆小ホール企画 バンドによるライブなど公民館内の小さなステージを使う企画の運営をします。

◆展示企画 お化け屋敷や中高生徒の作品展示など室内での企画全般の運営をします。

◆空いろ企画 模擬店や屋外企画の運営をします

話し合いを重ねながら細かな内容や予算を決めていきます。

11月

当日に向けて案を出し合っポスターやチラシの作成。市内に配布します。

前日

当日に使う荷物を搬入したりリハーサルをしたり、一日かけて準備します。

当日

みんなが作り上げた青少年フェスティバルに、遊びに来た皆さんのお客さんの笑顔が見られます。もちろん、みんなも楽しもう！そして、この経験があなたの財産に…！

《お問合せ》市役所青少年係

TEL 544-5111



フェスティバルキャラクターアキシマン

情報から行動へ

田中小学校校長 土屋 正登

地域との連携、保護者との連携、関係諸機関との連携、この「連携」という言葉をよく聞きます。連携とは、お互いに共通の目的意識があれば意味が薄くなります。また、続けていくことも難しくなります。情報交換を中心としたものです。行動連携とは、情報連携をもとに共通の目的を達成するために、相互に連携して一体的な対応を行うことです。

具体的に、新春たこあげ大

校長随想



「参加」することです。当日も含めて事前の打ち合わせ、参加呼びかけ、準備等参加に向けた

方法を考え、実行することです。その対応を通して、人々とあいなさつを交わし、顔見知りとなり、人の輪が広がっていくことは、ご承知の通りです。離れた人とは、親しくメール

会・青少年スポーツ大会・青年フェスティバルでいうと、年々「参加」することです。当日も含めて事前の打ち合わせ、参加呼びかけ、準備等参加に向けた地区委員会等の活動方針にある青少年とのかかわり・環境整備・広報活動に対応して人的、物的環境を有効に活用することだと考えます。世の中が変わり、様々な対応の仕方も変化してきました。しかし、人々の交流を通して、豊かな心を育むことは不易です。今後とも、昭島の青少年育成にご支援・ご協力をお願いいたします。



たこあげの様子（西部地区）



たこの臨時救急隊（東部地区）



実行委員と青少年委員と